

文学賞と 科学賞を 残した2人



菊池 寛

菊池寛記念館蔵



やすい
保井コノ

お茶の水女子大学蔵

芥川賞・直木賞の創設者として知られる菊池寛。京都大学を卒業後、時事新報記者を勤めるかたわら、『父帰る』等の戯曲、『恩讐の彼方に』等の短編小説で、新進作家としての地位を確立。さらに面白さと平易さを重視した新聞小説『真珠夫人』で、一躍流行作家となった。その一方で1923(大正12)年、私費を投じて若い作家のための雑誌「文芸春秋」を創刊、文芸文化の普及に努めたほか、日本文芸家協会を設立し、文芸家の地位向上、収入の安定、著作権の擁護などに尽力した。「文壇の大御所」。

女子高等師範学校(現お茶の水女子大学)に理科学研究生として再入学し、女性科学者の道を歩んだ保井コノ。女性初の官費留学生としてアメリカ留学を果たす。理由は「理科及び家事の研究」。「女が学問なんて」という時代だった。コノは偏見と差別のなかで1927(昭和2)年、石炭の構造に関する研究で日本初の女性理学博士となる。生涯に百編もの論文を発表し日本の科学の進展に大きく貢献し、一方で戦後、新制大学設置準備委員長として女子国立大学実現に尽力した。「日本のマリー・キュリー」。

日時 令和4年9月18日(日) 開場▶12:30 開演▶13:00

会場 能楽堂ホール ^{ナイン}tenjin9(岡山市北区天神町9-24)

定員 150名(事前申込不要、会場先着順) **入場無料**

新型コロナウイルスの状況により、定員は前後する可能性があります。



講師



青山学院大学文学部教授
片山宏行 (かたやま ひろゆき)

菊池寛研究の第一人者として知られ、2007年発見の『妖妻記』ほか、新たな原稿やゲラ刷りなどの資料発見の際には鑑定や調査に携わっている。1980年青山学院大学大学院博士課程中退。2000年より現職。著書に『菊池寛のうしろ影』など、共編に『菊池寛現代通俗小説事典』、編著に『倉敷市蔵 薄田泣菫宛書簡集 作家篇』など。

演題 「菊池寛と薄田泣菫」



サイエンススタジオ・マリー主宰
吉祥(山内)瑞枝(きつしょう みずえ)

専門は女性と科学技術工学数学(STEM)。特に、マリー・キュリーの理科教育のほか、保井コノの研究業績・人物・交流を調査研究し、女性の科学技術工学参画を推進している。香川県立丸亀高等学校～お茶の水女子大学卒業。博士(学術)。著書に『キュリー夫人の玉手箱』など。監修に『キュリー夫人の理科教室』など。

演題 「日本のマリー・キュリー 保井コノ」

問い合わせ (公財)山陽放送学術文化・スポーツ振興財団

e-mail sanyohoso-zaidan@rsk.co.jp
TEL 086-225-2770 FAX 086-225-5525

新型コロナ対策 岡山県の基準に沿った対策を実施します。ご協力をお願いします。詳しくは財団ホームページ。

・来場者のマスクの義務化(各自ご持参ください) ・37.5度以上の熱、風邪症状のある方は入場をお断りします。(同居家族含む)

第8回予告

鳥人幸吉、航空機の父 二宮忠八

令和4年11月13日(日)
能楽堂ホール tenjin9